

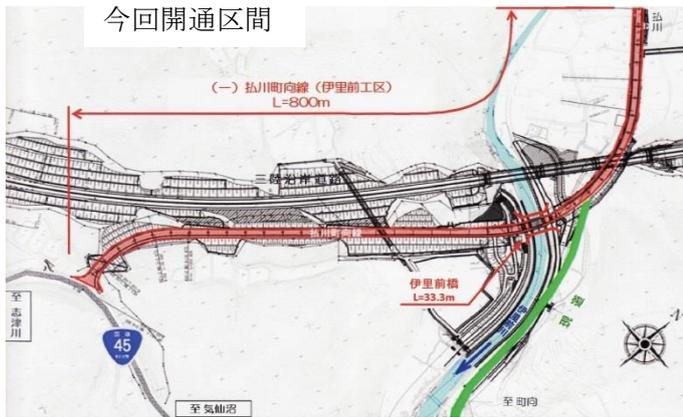
南三陸 復興まちづくり通信

第47号（平成30年5月発行）



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を進んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



県道弘川町向線 新ルート供用開始！

県が災害復旧工事を進めてきた県道弘川町向線の
新ルートが完成し3月25日、開通式が行われました。
県や町、住民、工事関係者など約50人がテープカッ
トをし、くす玉を割って完成を祝いました。同県道は、
歌津伊里前地区と田東山を結ぶ重要路線でしたが、津
波で被災。復旧に当たっては、伊里前川の河川堤防工
事に伴い、三陸道歌津ICにほど近い国道45号から

(テープカットとくす玉割りで開通を祝いました)

西光寺付近を結ぶ新ルートが採用されました。今回
開通した伊里前工区は延長800mで、幅員10m(う
ち車道7.5m、片側歩道)。総事業費は約10億円
です。新ルートの開通により、歌津ICから田東山方
面へのアクセスが向上し、これから迎える観光シー
ズンに大きな役割を果たすことが期待されます。

志津川東団地に高齢者生活支援施設開所！

志津川地区東団地内に整備が進められてきた南三
陸町高齢者生活支援施設が完成し4月27日、落成
式が行われました。建物は木造平屋建てで延床面積
は526平方m。要介護や要支援認定者を受け入れる
デイサービス施設と、地域の支え合いの拠点となる
生活サービス提供施設のほか、高齢者から子育て世
代までの住民が、カフェの活動をしながら交流でき
るスペースも設けられました。新しい施設の名称は
公募され、町内外から97件の応募があり、選考の
結果「結(ゆい)の里」に決まりました。



(あさひ幼稚園の園児2人によるくす玉割り)

モアイバスで椿の花流しツアー

～志津川中央復興住宅入居者が町巡り～

志津川中央地区の復興公営住宅の入居者らが4月12日、モアイバスを利用して町内巡りのツアーを楽しみました。復興みなさんが主催したもので、入居者ら14人が参加。志津川上山八幡宮や戸倉神社の境内で満開の椿を見物したほか、みなさん会のメンバーのガイドで、町内の復興状況を視察。入谷雲南神社のそばを流れる八幡川で「椿の花流し」をして、震災の犠牲者に祈りを捧げました。入谷ひころの里「ばっかり茶家」で昼食を楽しんだ後、三陸道三滝堂ICの「道の駅」を見学し、帰途に就きました。



(椿の花流しをして祈りを捧げる参加者たち)



(聴衆を魅了した池田敏美さんの演奏=集会所)

志津川で「池田敏美ヴァイオリンコンサート」

町営志津川西復興住宅で4月14日、ヴァイオリニストの池田敏美さんの演奏会が開かれました。集会所で開かれたコンサートには入居者や町内の住民など約50人が来場。池田さんは、「アヴェマリア」「ウィーン風小行進曲」「望郷のバラード」などのほか、「川の流れるように」など馴染みのあるメロディおよそ20曲を披露。聴衆は、美しい旋律と、心に染み入るような弦の調べに魅了されました。「ふるさと」と「花は咲く」の演奏では、聴衆も一緒に歌い、会場は深い感動に包まれました。

伊里前復興住宅で「椿のお茶会」

歌津伊里前復興公営住宅の集会所で4月17日、復興みなさん会主催の「椿はな咲くまちづくりお茶会」が開かれ、入居者ら15人が参加しました。

当会が2月に受賞した「いがす大賞」のご報告と、幸せのおすそ分けの意味を込めて開催したお茶会です。始めに、当会が取り組んでいる集会所でのお茶会や椿の避難路づくり、椿のグッズ・小物作りなどの活動をご紹介します。その後は、スイーツと椿茶で愉快におしゃべりを楽しみました。



(和やかな雰囲気の中で開催されたお茶会=集会所)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

復興みなさん会では、トヨタ財団から助成をいただき支援活動を継続しています。